

水道事業評価(令和7年度)						担当課	浄水課
1 事業情報							
目指すべき方向性	安全	基本政策	1 安全・安心な水道水の確保	施 策	1-1 水源の保全と確保	事 業	1-1-2 自己水源の確保

2 事業評価の概要

項目	内容							
基本政策	お客様がいつでも安心して水道を利用できるよう、水道事業者や水道施設の設置者と連携しながら、安全な水源を確保し、水道水がお手元に届くまでのすべての過程で安全かつ良質な水質を保ちます。							
事業目的	・地下水の安定した揚水量を確保するため、取水井の適切な維持管理を行います。 ・自己水源の安定的な確保を図るため、老朽化した取水井の改良・掘替工事を実施します。							
取組内容、数値目標及びスケジュール (単年度)	・日常的に井戸の静動水位の監視や揚水量の測定を実施し、井戸の健全性を確保します。 ・渇水時においても環境法令等を遵守した取水に努めた上で必要な水源を確保します。							
期間	令和7年4月 ～ 令和8年3月							
予算額 決算額		予算額			決算額			執行率
	単位:千円	総事業費	収益的支出	資本的支出	総事業費	収益的支出	資本的支出	単位: %
	事業費計	10,020	0	10,020	7,016	7,016	0	70%
	工事費	10,020		10,020	7,016	7,016		70%
	原材料費	0			0			
	委託料	0			0			
	賃借料	0			0			
	その他	0			0			
	人件費	5,832			5,832			100%

3 中間評価(事業の進捗状況)

執行状況	上半期執行額	7,016千円	事業進捗度	B 予定どおりの進捗
	上半期執行率	70%		
進捗状況	・計画通り井戸の水位監視を継続しました。 ・環境法令を遵守し必要な自己水源を確保しています。 ・R6から繰越された横曽根浄水場2号井ポンプ更新工事は、8月に完了しました。			

4 終了時評価(事業の達成状況)

達成状況	・計画通り井戸の静動水位の監視や揚水量の測定を実施し、井戸全体の健全性が保たれました。 ・渇水による給水制限はありませんでした。また、環境法令等を遵守し必要な自己水源を確保しました。 ・横曽根浄水場2号井ポンプ更新工事については、完了しましたが、運転再開に至りませんでした。 ・地下水の安定した揚水量を確保するため、不具合で停止していた神根浄水場の浄水処理施設の復旧作業を実施し、令和7年度からの運用再開を目指してきましたが、復旧作業中に別箇所から水漏れが発覚したため、神根浄水場の井水の運用再開には至りませんでした。
------	--

5 水道事業ガイドライン業務指標(PI)・独自指標

水道事業ガイドライン業務指標(PI)・独自指標					R7	R8	R9	R10
指標名	井戸の静動水位・揚水量の測定	単位	回/年	目標値	4			
算出式・根拠				実績値	4			
指標名		単位		目標値				
算出式・根拠				実績値				

6 視点評価及び総合評価

視点	評価項目	視点評価	視点	評価項目	視点評価
有効性	指標や目標値の達成度	B	説明責任	意見や苦情に対する適切な対応	B
	目的に対する実施内容	C		情報発信の実施	C
効率性	業務のプロセス改善(創意工夫)	C	組織学習	職員の知識向上のための取組み	C
	投入した費用・労力に対する成果	C		知識の伝達	B
評価理由(特記事項)					総合評価
・井戸の静動水位や揚水量の測定を年4回実施しました。 ・揚水量は、環境法令等を遵守出来ました。 ・横曽根浄水場2号井ポンプ更新工事については、完了しましたが、運転再開に至りませんでした。 ・地下水の安定した揚水量を確保するため、不具合で停止していた神根浄水場の浄水処理施設の復旧作業を実施し、令和7年度からの運用再開を目指してきましたが、復旧作業中に別箇所から水漏れが発覚したため、神根浄水場の井水の運用再開には至りませんでした。					C

7 今後の実施方針等

事業を実施する上での課題及び改善方針	今後の実施方針
・井戸の静動水位及び揚水量の測定を継続し、自己水源の保全に努めます。 ・各井戸の掘替・ポンプ更新時期について整理し、自己水源に影響がないよう努めます。 ・令和8年度に神根浄水場混流池耐震補強工事を実施する際に、水漏れも含め改修し、井水の運転開始に努めます。	現状維持で継続